



# 出産・ 子育て支援

安心して出産、子育てができるよう、一人一人のニーズに合った支援をあらゆる方向から実施しています。さらに、市独自の児童相談所を設置し、積極的な支援を可能にします。

出産から子育て、教育に関する高崎市の取り組みを紹介します。

子育てを  
支える

子育て中や妊娠中の人が、1か所で気軽にさまざまな相談ができ、必要な支援を受けられる子育て支援の拠点です。また、乳幼児向けの遊具やおもちゃを設置している「交流・プレイルーム」では、子どもたちの遊びの場を提供しています。

子育て  
なんでもセンター

子育てのことなら  
何でも  
ワンストップで対応

子育て世帯のニーズに合わせて、全国でも例のない独自のサービスを展開している高崎市。あらゆる方向から、子育ての支援に取り組んでいます。

ます





## 託児ルーム

(高崎キッズサポートかしの木)

映画鑑賞や買い物などの子育て中のリフレッシュから、冠婚葬祭や仕事などの急な用事まで、理由を問わず誰でも気軽に利用できる託児ルームです。保育士の資格を持つスタッフが、子どもたちを預かります。

## 子育て相談

保健師・保育士・教育相談員が、子育ての不安や悩み、子どもの健康や発達などについての相談を受け付けています。また、保育所(園)・幼稚園・こども園の情報提供や相談なども実施しています。

## 就労相談

キャリアコンサルタントの資格を持つスタッフが、ハローワークと連携をとりながら、子育て世代の就労に関する相談を受け付けています。就職相談や求人情報の提供、出産・子育てで離職した人の再就職支援、ひとり親の就労支援の他、資格取得やキャリアアップの相談にも対応します。



理由を問わず  
誰でも利用できる



子育て世帯を  
経済的に支援

## 学校給食費の 一部無償化

子育て世帯を経済的に支援するため、令和7年度から市立の小・中学校と特別支援学校の給食費の一部無償化を行います。第二子以降の給食費を無償化し、第一子の給食費の10パーセントを市が負担します。また、高崎市では食材価格の高騰に伴う、給食材料費の高騰分の支援を令和4年度から行っています。

## 出産・産後、 不妊治療 への支援

高崎市で安心して出産・子育てができるよう、出産入院費用の補助や新生児検査費の助成など、本市独自の支援を行っています。また、不妊治療を行う人への支援も実施。  
出産・子育て世帯と、妊娠を望む人へのさまざまな取り組みを紹介します。

所得額に関係なく  
全ての妊婦に支給

## 妊婦健康診査 特別助成

妊婦が定期的な健康診査を受診する際にかかる費用（一部の診査を除く）を助成するため、妊婦1人につき1万円分（千円×10枚）の補助券を交付します。全国的にも珍しい、本市ならではの助成です。

## 妊婦初回 産科受診料助成

はじめて産科を受診する妊婦に対して、妊娠の判定に必要な費用を助成します。助成額は上限1万円。所得額に関係なく全ての妊婦に支給される、本市独自の支援制度です。

妊婦1人につき  
1万円分の  
補助券を交付

年齢・申請回数  
の制限なし

## 生殖補助医療費 助成

生殖補助医療や男性不妊治療を行う人を対象に、保険診療および保険外診療の治療にかかる費用の一部を助成します。年齢制限、申請回数の制限はありません。

任意検査の  
自己負担に対し助成

## 新生児難病検査費 助成

公費負担で実施される検査以外の、任意検査にかかる自己負担分に対して助成しています。さらに難病が発見された場合には、通院にかかる交通費も併せて助成。一人でも多くの新生児の検査・治療につなげます。

1回の出産につき  
5万円を助成

## 出産入院費用 支援金

医療機関にて正常分娩で出産した産婦に対して、出産入院にかかった費用を助成します。助成額は、1回の出産につき5万円です。

不妊治療などに  
かかる費用の  
一部を助成

## 不妊治療・ 不育症治療費等助成

一般不妊治療や不育症治療を行う人を対象に費用の一部を助成する、本市独自の取り組みです。助成額は、対象となる治療費の自己負担額のうち、一般不妊治療助成は10万円、不育症治療費等助成は20万円が上限です。

無料で通所、訪問による  
産後ケアが利用可能

## 産後ケア事業

産後ケアを必要とする産婦が対象です。産後1年以内に、最大7日(多胎児出産の場合は12日)、医療機関や助産所などにおいて、通所や訪問による産後ケアを利用することができます。産後の体調管理や育児をサポートすることで、育児不安の緩和や産後うつ予防につなげます。



入所申し込みを  
毎月受け付け  
原則2週間で回答



## 高崎の 保育への 取り組み

頑張る子育て  
世代を応援す  
るため、全国  
に先駆けたさ  
まざまな取り  
組みを行って  
います。

## 通年受付・ 待機児童 ゼロの継続

保育所への入所を通年で受け付けています。入所申し込みを毎月受け付けし、入所の可否を原則2週間で回答。申し込みから通知までの時間を大幅に短縮することで、保育所が決まるまでの不安を解消します。

さらに、保育所の定員を増やすための施設整備や、保育士を確保することを目的とした、保育士を目標としている人の就労支援や相談業務を行う「保育士情報ステーション」の設置、保育士を対象とした家賃補助など、さまざまな施策を行い、待機児童ゼロを実現しています。

「高崎の子どもは  
高崎で守る」

## 市独自の 児童相談所 の設置

「高崎の子どもは高崎で守る」を掲げ、令和7年度開所に向けて整備を進めている児童相談所（問屋町4丁目）。中核市として独自に設置することで、増え続ける児童虐待に対し、より迅速な対応や、行政サービスを活用した「行動する児童相談所」として積極的な支援を可能にします。





## 教育への 取り組み

子どもたちが英語に親しみ、国際感覚を育める教育環境を整えるため、本市独自の英語教育を進めています。

小中学校と  
市立高校に  
ALTを配置

## 英語教育の 充実・ALT

市内83校の小中学校と1校の市立高校に、ALT（英語指導助手）94人を配置しています。規模の大きい学校には2人のALTを配置。中核市で全校にALTを配置している例はほとんどなく、全国でも珍しい取り組みです。各ALTは、担任や英語担当教員とチームティーチングにより授業を実施。生きた英語を学ぶことで、子どもたちは自然と高い英語力を身に付けることができます。



## くらぶち 英語村

生きた英語を学べる  
山村留学施設

小中学生が生きた英語を学べる山村留学施設です。子どもたちが親元を離れ、英語のネイティブスピーカーのスタッフと共同生活を送ることで、実践的な英語力や豊かな国際感覚を身に付けることができます。倉洲地域の豊かな自然環境に囲まれながらキャンプやハイキングなどを体験することで、自立心や生きる力を育めることも特徴の一つです。